

当院での1型自己免疫性膵炎の診断における

EUS-FNAの有効性の検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

近年、当院での1型自己免疫性膵炎の診断におけるEUS-FNAの有効性が報告されている。自己免疫性膵炎（以下AIP）の診断は、複数の検査所見を組み合わせて診断を行う必要があるが、その一つとして病理学的な診断も重要となっている。病理学的診断の方法としてはEUS-FNAの有効性が報告されているが、その方法は各施設様々であり一般的な見解がない。今回当院における1型AIPに対しての超音波内視鏡下穿刺吸引生検法（以下EUS-FNA）の有効性に関する検討を行った。

【方法】2012年4月から2024年9月までの約12年間における臨床的に1型AIPが疑われ、膵病変に対して病理学的診断目的にてEUS-FNAを施行した25症例を対象とした。

AIPの診断基準としては自己免疫性膵炎臨床診断基準2018に基づいて行った。なお研究期間は承認後から3年間の予定とする。

研究期間

2012年4月から2024年9月までの約12年間

研究の対象となる方

2012年4月から2024年9月までにおける臨床的に1型AIPが疑われ、膵病変に対して病理学的診断目的にてEUS-FNAを施行した25症例を対象とした

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、術後再建腸管に対する小腸鏡併用下のERCPの治療成績や安全性、長期予後について統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつながりません。論文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

松本 久和 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 副部長

共同研究者

中野 省吾 消化器内科 医師

上野山 義人 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171（代表電話）

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20